



議長・副議長×高校生

座談会
ROUND-TABLE TALK



8月8日に長岡壯壽議長(以下議長)、浜田知昭副議長(以下副議長)と、私たち神戸鈴蘭台高校編集部の上野結稀(2年)、下浦彩愛(同)、高橋俊徳(同)、長塚花佳(1年)が座談会を行った。積極的で明るい議長さんと、優しく穏やかな副議長さんにリードされて楽しく対談できた。

議長メッセージ

このたび県議会では、兵庫の未来を担う高校生の皆さんに議会の役割や仕組みなどを知ってもらい、少しでも県議会に関心を持っていただけるよう、神戸鈴蘭台高校編集部とコラボしてこの新聞をつくりました。これからも、多様な世代の意見が反映される「開かれた県議会」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

(兵庫県議会第122代議長 長岡壯壽)

議員の経歴・きっかけはさまざま、故郷を思う気持ちがあれば

- 高橋** 県会議員になる前は何をしていましたか?
- 議長** ブルドーザーを作る会社で働いていました。
- 副議長** 淡路島で洲本市の職員をしながら、農業もやっていました。退職後は、晴耕雨読の生活。
- 下浦** 県会議員になろうと思った理由やきっかけは何ですか?
- 議長** 社会福祉の課題に直面したことがきっかけで本格的に議員になることを考え出しました。理由はさまざまやけど、お金目的で議員になった人は僕が知る限りひとりもいなくて、それぞれ問題意識を持ってやっています。
- 副議長** 洲本市の職員として勤務していたときに大きな災害が何度も起こったことがきっかけ。復興には県の力が必要だと思ったんでね。



- 上野** 県会議員になるためにはどんな力が必要だと思いますか?
- 副議長** 力は特に必要ないかな。自分たちが住んでいる故郷を好きな気持ちがあれば大丈夫!
- 議長** 情熱と志があればなれると思う。
- 副議長** 今はいろいろな方法で選挙活動ができる。なりたいという強い気持ちがあればなれると思います。
- 議長** よくしゃべること笑顔も大切です。
- 長塚** 将来県会議員になりたいと思っている高校生が、今のうちからできることはありますか?
- 議長** なかなか議員になりたいと思っている高校生はいないんとちゃう? 憧れてもらえるようにならんとアカンね。議員も将来の選択肢の一つになってほしいです。
- 副議長** いろんな人と会って話を聞くことが大事とちがうかな。

知られざる議会・議員の活動、やりがいは県民からの感謝

- 長塚** 県議会あるいは県会議員の果たすべき役割は何だとお考えですか?
- 議長** 1つめは行政の監視。県の職員は約6万人。学校の先生とかもそうだけど、みんなプロの仕事をしてるでしょ。僕たちはアマチュアなので、そういうプロに対してアマチュアの感覚で意見を言うことが大切なんよ。2つめは議会への提案。本会議ってすぐに議案が通って、セレモニーみたいに見えるでしょ? 「いつも賛成ばかりやないか」って。
- 副議長** 否決されることが少ないと思われている。それは会派ごとに、本会議までに長い時間をかけて話し合ってるんですよ。事前に侃侃諤々の議論かんかんかくかくをしているから、本会議では賛成になることがほとんどなんやね。
- 高橋** 議員として普段から心がけていることは何ですか?
- 副議長** 地域の皆さんの意見を率先して聞くことを心がけています。現場まで足を運ぶことが一番大切だと思ってます。
- 下浦** 議員としてやりがいを感じるのはどんなときですか?
- 議長** いつもしんどいし、誰も褒めてくれない。でも、一つでも課題が解決したり、人々に喜んでもらえたら嬉しいわ。
- 副議長** やってほしいことがすべてはできない中で、みんなで考えてやってきたことが実現して、県民から「ありがとう」と言われたときが嬉しいですね。

若い世代は兵庫の課題・将来にもっと関心を

- 下浦** 兵庫県が今、一番力を入れていることは何ですか?
- 議長** 人口減少への対策。例えば、進学・就職時にたくさんの若者が東京へ行くので、いつかカムバックしてもらえるように、...とか。
- 副議長** 「兵庫2030年の展望」(注)がめざす未来の実現に向けて力を合わせて頑張っているんよ。



- 高橋** 兵庫県北部では過疎化が深刻な地域もありますが、どういった対策が取られていますか?
- 議長** 田舎に働く場所を作って、魅力を高めようとしています。
- 副議長** 田舎でなら人間らしい暮らしができるという方は、生活は田舎で、仕事は都会でしてもらおうという考え方もあります。(二地域居住)
- 長塚** 少子高齢化に伴って県立高校はどうなっていくのですか?
- 議長** いつの時代も教育は大事。地域には県立高校も必要なのでしっかり残していかなければならない。教育は大きく変わっていくので、近い将来には学校の概念が変わっているかもしれないね。
- 下浦** 高齢化について何か対策はありますか?
- 議長** 長寿社会はおめでたいことだけど出生数が少ない。若い世代の意見も取り入れるために行政にもっと関心を持ってほしい。

若者の意見を社会へ伝えよう

- 高橋** 私たち高校生に望むことは何でしょうか?
- 副議長** いろんなことに好奇心を持って取り組んでほしい。
- 議長** とにかく投票して! そうしたら未来がものすごく変わる。若者は政治に無関心だけど、無関係にはならない。自分の意見を社会に伝えてほしい。そのためにも、やっぱり選挙に行って! っていうことかな。



取材・記事・写真
県立神戸鈴蘭台
高等学校
編集部



兵議博士からのクイズ

今年4月の兵庫県議会議員選挙、投票率は何%だったでしょうか?

- 1 50.48%
- 2 45.67%
- 3 38.64%

答えは裏面へ

(注)兵庫2030年の展望

兵庫県が県政150周年を迎えた平成30(2018)年に策定。2030年に向けて生活も、人も、産業も、地域もすべてがバランスした『すこやか兵庫』の実現をめざしています。詳しくは兵庫県のホームページで→

兵庫県 2030年の展望 検索



教えて兵議博士! 兵庫県議会について

Q 兵庫県議会は何をしているの?
A 兵庫県議会には、県内各地域(39選挙区)から選挙で選ばれた86名の議員が、兵庫県を豊かで住みよいまちにするため、地域の課題や県の重要事項を審議し、予算や条例などさまざまな施策を、県議会で話し合っているよ。だから、議会は議事機関と言われているんだ。
 そういえば、知事も選挙で選ばれるんでしょ。役割はどう違うの?
A 知事は行政の長として県民の暮らしや安全を守るための事業などを実施しているよ。だから執行機関と言われているんだ。
 でも、知事がこうした施策を行うには、予算や条例の案を議案として議会に提案して、議会の決定をもらう必要があるんだ。[図1]

Q へえ。選挙で選ばれた知事と議会が車の両輪となって県政を進めていくんだね。じゃあ、議案はどのようにして審議していくの?
A 議案は、議員全員で議論する「本会議」に提出され、知事から説明を受けたあと、議員から知事に質問をして答弁(回答)を求めるんだ。
 その後、議案は少数の議員に分かれて専門的に審査を行う「委員会」に送られて審査が行われる。その審査結果報告を受けて、再び「本会議」で全議員による討論が行われ、最終的に多数決により決定されるんだ。[図2]
 しっかり議論したうえで決めているんだね。
A 本会議や委員会は録画配信も行われているから、インターネットでも見られるよ。

図1 県の仕事のしくみ

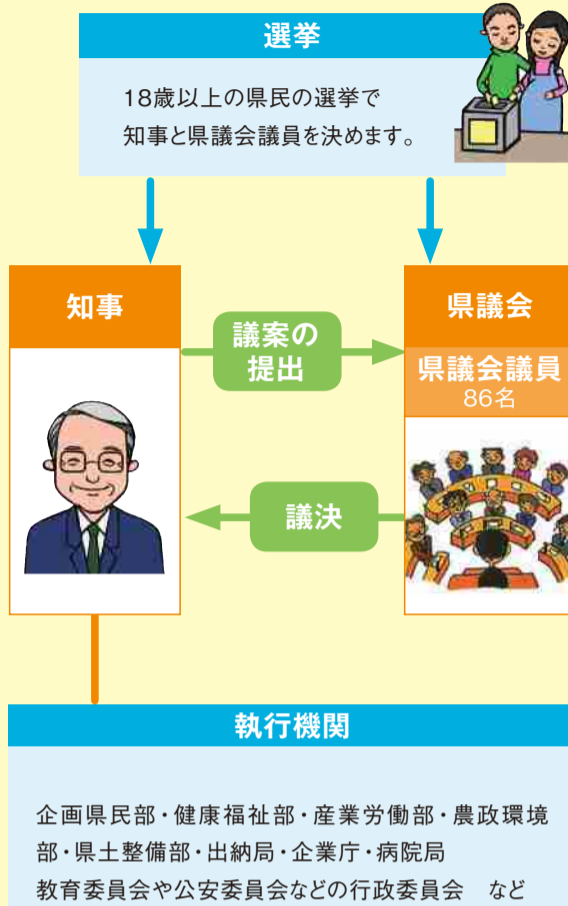
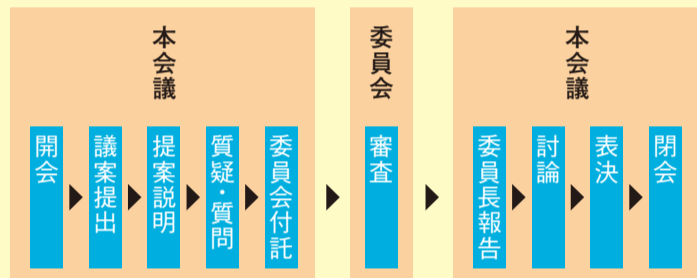


図2 議案を審議する流れ



ちょっと見てみない?

 兵庫県議会中継ページへ

投票へ行こう!

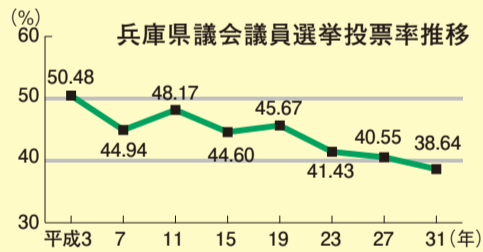


前のページの兵議博士からのクイズ、見てくれたかな。答えを発表するね。

こたえ!

③ 38.64%

正解は③ 38.64%。前回(平成27年)までは40%を超えていたけど、ついに30%台になってしまったんだ。



Q わあ、どんどん低くなってきている。40%って10人に4人しか行っていないということだよな。
A ちなみに、平成29年の衆議院議員選挙で、兵庫県の18歳の投票率は47都道府県中最下位(37.88%)だったんだ。。。(全国1位山形県58.28%)
Q え、そうなの!?選挙って行かなくていいものなのかな。

A それは違うよ。上の記事で、住民から選ばれた議員や知事が議会で日々、県の重要な事柄を審議し、決定しているということは説明したよね。つまり、議員や知事はきみたちの代表として話し合うんだ。
Q そうだね、議員や知事は僕らの代表なんだ。ちゃんと選挙へ行って、代表になってほしい人を選ぼう。

座談会編集後記

県立神戸鈴蘭台高等学校 編集部

- 2年・上野結稀/座談会は緊張したけど、議長さんも、副議長さんも気さくなだったので楽しく話すことができました。普段見ることができない議場も見学することができ、良い経験になりました。
- 2年・下浦彩愛/お話を聞いて自分の意見を伝えることは大切だと知り、18歳になったらしっかり選挙に行こうと思いました。
- 2年・松尾小桃/政治は難しいというイメージを持っていましたが、まずは興味を持ち調べることが大切だと思います。自分も投票で社会に貢献したいです。
- 2年・高橋俊徳/今回座談会を開いていただいたことにより、県が抱えている課題が何であるか、また解決策を模索されていることが分かりました。

- 2年・山際力綺/議員の仕事内容や、県議会で行っていることなどの話を直接聞いて、知ることができたので良かったです。
- 1年・川畑実生/議長、副議長のおふたりが気さくに接してくださって意外でした。なんでもかみ砕いて説明してくださりとても分かりやすかった。
- 1年・長塚花佳/これまで兵庫県の将来などについて、考えることはありませんでした。今は、もっと地元のことについて知りたいなと思ったし、18歳になったら選挙にも行こうと思いました。
- 1年・西野貴翔/初めて県議会に行って議

長さんと副議長さんに会ってすごく話しやすい方々でした。僕たちの意見を親身に聞いてくださって、本当にありがとうございました。
 ●1年・山根奏楽/もうすぐ選挙権を持つことになり、今回の取材で深く考えることができました。将来私たちが兵庫県を変えていくことになるんだと実感することができ、将来の自分につなげていこうと思います。



県議会のことをもっと知りたくなったら...

県議会ホームページ

議会の取組や予定を配信します。県議会を見に来る方法(傍聴)も載せています。



兵庫県議会 検索

広報紙

ひょうご県議会だより(年4回)

定例会の様子をお伝えします。本会議でどんなことを話し合っているのか、チェックしてみてください。

